

能舞台で響く尺八饗宴 —居合・能楽仕舞・和洋楽・書—

ご挨拶

この度、神戸湊川神社の神能殿にて「能舞台で響く尺八饗宴—居合・能楽仕舞・和洋楽・書—」を実施できることになり、ご協力とご参加をいただきます皆様に厚く感謝を申し上げます。この企画の開催趣旨は、尺八演奏家としても活躍されていた友人の矢野司空上人が、4年前に大腸・肺・肝臓のガンに罹りました。最近になって尺八演奏活動ができるまで回復されましたので、矢野司空上人の快気祝いと川本剛空上人を含めた私たち3名の交流を現在に刻むところにあります。

私たちは中学校・高校の時に恩師であり、竹之内流有段者の岡邊博先生から柔術による薫陶を受け、1967年に長田高校を卒業し、教員を目指して広島大学へ入学した同期生です。岡邊先生のご紹介で広島大学名誉教授山本空外先生にお会いし、山本空外先生の哲学的影響を受けながら矢野君と川本君は僧侶として、私は学者として各々の歩みを生み出してきました。この歩みにおいて矢野君は尺八、川本君は書道、私は居合道を久修練行してきています。このように三者三様の取り組みですが、共通するところは我にとらわれない自然之妙有のいのちの根源体感にあります。

この企画では、私たち以外に能楽師の梅若基徳氏とミュージック・サーカスのメンバーの辻本明日香氏、吉村靖弘氏、山口聖代氏及びゲストの井原季子氏の若き和洋楽器の演奏家の方々にも協力を得られましたので、私たちの同窓的企画が能舞台で伝統的文化を踏まえた新たな創造的文化の饗宴としての意義を有すると確信できた次第です。

この企画は、私ども3名の最初で最後の饗宴です。私どもとのご縁でご参加いただいた方々におかれましては、この湊川神社の神能殿で響く尺八饗宴—居合・能楽仕舞・和洋楽・書—を、ご参考に多彩な文化活動に挑戦されることを祈念いたします。

主催者代表 中村 哲

能舞台で響く尺八饗宴
一居合 能楽仕舞 和洋楽 書一

書 川本剛空

能舞台で響く 尺八饗宴

一居合・能楽仕舞・和洋楽・書一



能楽仕舞 梅若基徳



和洋楽 ミュージック・サーカス



尺八説法 矢野司空



居合 中村哲

令和5年3月26日[日]

午後2時開演 (開場1時30分)

於 湊川神社 神能殿

神戸市中央区多聞通3-1-1

〈料金〉全館自由席

前売券 2,000円 / 当日券 3,000円 / 学生券 1,000円
(高校・大学)

〈HomePage〉

https://www.rawace.org/project_kouen.html



申込フォームQR

主催 / 和文化プロジェクト実行委員会

後援 / 神戸市・神戸市教育委員会・神戸市民文化振興財団・和文化教育学会

制作協力/西宮能楽研究会 デザイン/PRONEX DESIGN



矢野司空(やの しこう) 1949年神戸生まれ。長田高校時代より尺八を始め、広島大学入学後邦楽部に所属、生田流箏曲および都山流尺八を学ぶ。学生運動をきっかけに中退し上京。横山勝也に師事し琴古流および海童道尺八を学ぶ。NHK邦楽技能者育成会第16期卒、NHK邦楽オーディション合格。プロ活動を始めたが人生に行き詰まり、托鉢の旅にでる。高野山での別時念仏会にて心の転換を経験。1976年山本空外上人を師として出家、浄土宗僧侶になる。1979年愛知県谷性寺住職。念仏布教と尺八演奏を合体した「尺八説法」を始め全国で講演活動を行う。邦楽以外にジャズ、クラシック、民族音楽、舞踏、演劇などとのコラボ活動を行う。アメリカ、イギリス、韓国、中国など海外30カ国以上でコンサートツアーを行う。NHK教育テレビ「こころの時代」など、テレビ、ラジオに出演。CD「快楽之音」「静かな月」「迦羅」をリリース。2020年大腸ガンになり、さらに肺及び肝臓への転移でステージⅣと診断され闘病生活が始まる。3度の手術を経て、現在も抗がん剤治療を続けている。2022年より演奏活動を再開。



中村 哲(なかむら てつ) 1948年6月に神戸市で生まれ、1967年3月兵庫県立長田高校卒業、1971年3月広島大学文学部哲学科卒業、1975年3月広島大学大学院教育学研究科博士課程退学。秋田大学、兵庫教育大学、関西学院大学、桃山学院教育大学に勤務。現在、兵庫教育大学名誉教授、桃山学院教育大学客員教授、和文化教育学会会長。和文化教育を提唱し、推進している。昭和43年4月広島剣友会に入会。会長相原勝雄先生から伯耆流居合道の指導を受ける。令和元年5月範士九段。昭和60年度から近畿地区兵庫県にて伯耆流貫行会を結成し、居合道の実践と理論に取り組んでいる。



梅若基徳(うめわか もとのり) 重要無形文化財総合指定保持者、公益社団法人 能楽協会会員、一般社団法人日本能楽会会員、一般財団法人 日本伝統芸術文化財団 代表理事。中世より代々続く梅若家に生まれ、初舞台は3歳。関西を中心に日本各地での公演、また海外公演にも多数参加。他の様々なジャンルとの融合や競演をし、日本の伝統芸能の可能性も模索している。2017年12月兵庫県西宮市に「西宮能楽堂」を開館。著書に「能に観る日本人力」BAB出版。



Music Circus(ミュージック・サーカス) 音楽で笑顔の輪(circle)を広げたいという思いを持った創立メンバー5人により2013年に活動開始。さらに「地球は一つの大きなCircle」というメッセージ性のある舞台を目指し、2017年から2020年には民族楽器や舞踊のゲストを迎え全7回のworld seriesを開催。2021年10月にはその集大成となるMusic Circus FES、2022年12月にはMusic Circus FES vol.2を開催し、世界や日本の子供たちの為の活動にも夢を広げている。なお、今回はバイオリンの辻本明日香、和太鼓・篠笛の吉村靖弘、ピアノの山口聖代の3名に加え、FESメンバーより笙の井原季子が参加。
ミュージックビデオ “pray to the earth” https://www.youtube.com/watch?v=5q4_rY5Gxqc



川本剛空(かわもと ごうこう) 1948年9月神戸生まれ。長田高校時代に尺八や書道を始める。広島大学文学部哲学科に入学。1972年に山本空外上人を師として出家。1978年に京都府精華町安楽寺住職。2003年5月に丹波篠山市本来寺の格天井に64枚の経文を揮毫。2008年に『川本剛空作品集』(発行・IBOOKS)を刊行。2011年から京丹後市久美浜町の西方寺の住職として活躍している。舞台鏡板に、「三千大千世界」の揮毫對軸を展示。

申込み方法

● 申込フォーム QR…右の QR コードを読み取り
必要事項を記入のうえ送信してください。



〈申込フォーム QR〉

● ホームページより

https://www.rawace.org/project_kouen.html

お問合せ先 / 西宮能楽研究会

[Mail] noh.kenkyuu@gmail.com [Tel] 090-8235-4876(沖)

会場 **湊川神社 神能殿**
兵庫県神戸市中央区多間通3-1-1

JR神戸線「神戸」駅 北へ徒歩3分
阪急・阪神・山陽各線「高速神戸」駅 東改札すぐ
神戸市営地下鉄「大倉山」駅 南へ徒歩5分
神戸市営地下鉄「ハーバーランド」駅 北へ徒歩5分



「千世界」書・川本剛空



「三千大千」書・川本剛空